

報道関係者各位

2014年9月10日

データベース・セキュリティ・コンソーシアム (DBSC)

データベースのセキュリティ対策およびデータベース管理者の意識調査報告書を公開
～ 管理者の10人に1人は「情報を売却するかも知れない」～

データベース・セキュリティ・コンソーシアム（会長：安田浩）では、2014年9月10日、『DBA1,000人に聞きました』アンケート調査報告書』を公開しました。

※DBA：データベース管理者

◇URL：http://www.db-security.org/report/dbsc_dba_ver1.0.pdf

<本報告書のポイント>

- ① ”30.4%のデータベース管理者が「管理者でない人に管理者権限が付与されている」と回答”しており、データベースに対するセキュリティ対策は、その進捗は見られるもののまだ十分ではない。特に管理者権限を持つユーザに対する制御や監視、牽制などには課題が多い。
- ② ”データベース管理者の約10%が「情報を売却するかも知れない」と回答”としており、一定の割合のデータベース管理者が、状況によっては不正に手を染めてしまうかも知れないという漠然とした不安を持っている。また給与や職務環境については、必ずしも満足していない人が多く、このことが不正を起こしやすい状況を生んでいる。

当コンソーシアムのワーキンググループ（以下、WG）である「DBA実態調査WG」（WGリーダー：北野晴人氏）では、2013年4月、データベース管理者1,000人に対して“データベースのセキュリティ対策状況及びデータベース管理者の方々がどんな意識で運用や開発に関わっているか”についてのアンケート「DBA実態調査」を実施しました。今回の報告書は、この調査結果を分析してとりまとめたものです。

本年も内部不正行為による大規模な個人情報の漏えい事件が報じられたことを受けて、本コンソーシアムが設立当初より提唱している、外部の脅威からデータを守るだけでなく、内部不正を防ぐための「データベース・セキュリティ対策の重要性」を今一度ご検討頂きたいと考えております。

（調査報告書の詳しい内容については、DBSCのHP上で公開中、9月10日開催の「!緊急開催! DBSCセミナー」でもご紹介する予定です）

■本件に関するお問い合わせ：

データベース・セキュリティ・コンソーシアム(DBSC)事務局

Tel： 03-6757-0126 / Email： info@db-security.org